

## 留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	2年生

### 留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	50万円
保険料	8万円
宿舍費（1か月あたり）	4万円ほどが給料から天引き
食費（1か月あたり）	1万円
渡航旅費	30万円

### 滞在形態関連

<b>1) 種類</b>
寮ルームシェア
<b>2) 部屋の形態</b>
相部屋（5人）
<b>3) 設備</b>
シャワー、お風呂（浴槽）、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット、電話、冷蔵庫、ジム。
<b>4) 住居を探した方法</b>
留学先大学の指定

現地情報	
1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？	はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？	いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？	はい。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？	はい。B型肝炎、髄膜炎、MMR
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？	留学先の友人、日本にいる友人や家族、大学の留学担当窓口
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？	ディズニーの敷地内ということもあり、24時間警備の方がいたので治安はよかったです。ただ敷地外で一般の人がキャストメンバーを狙った事件があったので敷地外の出入りは出来る限り避けていました。幸いにも事件に巻き込まれたことは一度もありませんでしたが、もし巻き込まれていたらおそらくハウジングセンターの人に相談していたと思います。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？	寮内にフリーWi-Fiがありましたが、実際に働く職場やバスの中ではインターネットが使えないのでSIMを購入するかソフトバンクのアメリカ放題に加入するべきだと思いました。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？	働く前にディズニー側からデビットカードをもらい給料が毎週そのカードに振り込まれる制度で、そのカードを使って買い物をしていました。生活費は給料で充分まかなえました。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？	歩いて20分のところとバスで15分のところにもスーパーがあったので買い物には困りませんでした。持って行ってよかったのは女性限定になってしまいますが化粧品や生理用品です。日本の女性特有のものは繊細なものが多いのでアメリカのものを代わりに使うのは難しいなと思ったからです。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？	プログラム代に含まれていました。

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

節約をするためにも自炊は避けて通れないと思うので、簡単に作れるものでも日本で練習しておくといいと思います！

### 渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？

留学先大学のピックアップサービス

2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？

はい。1週間強。

### 学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名

Cooperate Social Responsibility

授業内容や試験、授業を受けた感想について

主な課題はオンライン上でのディスカッションと4つのエッセイでした。どちらもディズニーが企業としてアメリカの社会にどのようにいい影響を与えているかといった内容のものが多かったです。このクラスのおかげでただ働いてたら気付けなかったような社会的に良い側面に気づくことができました。

履修した授業科目名

Application of Communication Skills

授業内容や試験、授業を受けた感想について

この授業もオンラインディスカッションと4つのエッセイが主な課題でした。こちらは異なる文化を持った人とどのように関わるべきか、仕事を通じて学んだことをアウトプットすることに重きをおいた授業でした。

## 留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>留学を決めた理由として英語力の向上もちろんその一つではありますが、最大の理由は自分自身を成長させ、人間力を上げたかったことにありました。日本でももちろん、自分自身を成長させることはできるとは思います。しかし 20 代という多感な時期に留学することはこれから生きてくうえで間違いなく糧になると思いました。その中でもディズニーインターンシッププログラムを第一希望にした理由はディズニーのホスピタリティ精神を身をもって学びたいと思ったからです。高校生のときカリフォルニアのディズニーランドに行く機会があったのですがその時に日本だけだと思っていたディズニーのクオリティは世界共通で、言葉の壁を超えてゲストを笑顔にしていたことにとても驚きました。アメリカというと日本と比べて接客のレベルの高さはそれほど求められないのですが、その中でもキャストさんがとても丁寧で笑顔が素敵だったことがとても印象的でした。このような経験を通じてディズニーのホスピタリティを実際に身をもって学びたいと考えこのプログラムに参加することを希望しました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学前の準備は選考前も選考に通った後も留学に必要なレベルまで英語力をあげることに専念しました。TOEFL のスコアアップのために Toefl preparation の授業を履修したり、リスニングが苦手だったので電車の中で pod cast をきいてリスニング力向上に努めました。留学に行くことが決まってからも意識的に podcast は聞いてました。また留学中同僚たちと仲良くなるために日本の文化について英語で説明できるように空いてる時間を見つけてはスマホで調べてました。そのほかに日本でしか手に入らないものを持ってくことを意識しました。実際に持って行って良かったと思ったのは日本のお菓子です！お菓子は留学中の疲れを癒してくれただけでなく同僚に配って話すきっかけを作れました！</p>

<p>留学中に役立った書籍, ウェブサイト, アプリ等</p>	<p>私の主な情報源は実際に留学に行った先輩の話でした。幸いにも去年同じプログラムに参加した先輩と同じ授業を履修していたのでその先輩にプログラムの話を聞いてアドバイスをもらっていました。また同じく去年参加した先輩で SNS にディズニーの情報をまとめてくれてる先輩がいたのでその情報も参考になりました。ほかにも明大生のための情報サイト (MEIJINOW) にも何年か前にプログラムに参加した先輩が現地の様子をまとめてくれていたのでそれも参考にしました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>プログラムの最初の一週間だけ滞在したフロリダ州立大学はアカデミックな雰囲気が特徴的で自然豊かなとても過ごしやすい環境でした。実際に働くことになるディズニーワールドはパークによって多少なりは違うと思いますが一緒に参加した友達の話聞く限り全体的に留学生である私たちを温かく受け入れてくれた環境だったと思います。私が働いた職場はどちらとも英語が流暢にはなせない私をかわいがってくれて成長する機会を与えてくれた素晴らしい環境でした。たった3ヶ月しか働かない身でありながら家族のように迎えてくれたので私も楽しみながら働くことができました。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>私たちはフロリダ州オーランドに滞在していましたが、渡航する前はアメリカということで銃や治安について心配していました。ですがオーランドは世界中からたくさんの方が訪れる観光地だったため治安はアメリカの中でもかなり良い方だったと思います。基本的に私たちは日本で言ったら一つの市ほどの大きさがありそんなディズニーリゾートの中で大体の用は済んでしまい、その中ではディズニーが厳しく安全を管理してくれていたため治安に関しては心配する必要ないと思います。ですがアメリカであることには変わらないので夜の外出は控えていました。</p>

<p>留学先における交友関係</p>	<p>私は国日の子5人と同じ部屋に住むいわゆる日本人部屋に住んでいました。このような環境もあり仕事のない日はルームメイトと過ごすことが多かった気がします。また働き始めてから数ヶ月たち仕事にも慣れてきた頃にはまとまった休みを取って旅行にもいきました。私の場合はサンフランシスコとニューヨーク、マイアミに行きました。もちろん世界中からきた同じ職場の子と遊びに行くこともありました。幸いなことにファーストもセカンドのジョブも仲良くしてくれた子がいたためオフではパークに遊びに行ったり仕事終わりにファストフードに行ったりしたのも今ではいい思い出です。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>英語が話せて当たり前の環境だったので最初こそ英語に非常に苦戦しました。最初の方は覚えることがたくさんあるにも関わらず英語を聞くことも話すこともままならず同僚に迷惑をかけっぱなしで申し訳なさで心が折れそうになったときもありました。ほとんどの同僚たちは気にしなくていいと励ましてくれましたが、それでも自分の英語力のなさをまざまざと見せつけられるのは辛かったです。しかし英語力を上げることは今回の目標のひとつだったのでめげずにゲストや同僚に話しかけて会話の機会を作ることになりました。そうしてるうちに明確な時期は分かりませんがだんだんと相手の言ってることも理解できるようになり自分の言いたいことも英語で表現できてきた自分がいました。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>ほぼ毎日のように仕事があったので自分自身で英語を勉強するまとまった時間を取ることは難しかったので自習は通勤のバスの中や、ジムで走りながら英語を聞いたりしていました。その分働いているときは最大限この機会を活かすことを自分と約束しゲストと積極的に話すことを心がけていました。最初こそ慣れていなかったので最低限の業務をこなすことの精一杯でしたがゲストと話すことが好きな同僚がたくさんいたので彼ら彼女らを参考にしながらゲストと交流し英語力の向上を図りました。</p>



<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>休みの日はディズニーの知識を身につけるためにもパークに行ったり車で 20 分ほどの場所にあるユニバーサルオーランドへ遊びに行ったりと充実した日々を送れました。またディズニーの方でもハウジングイベントというのを主催してくれて私たちカレッジプログラム生を飽きさせないためにたくさんのイベントがありました。私も仕事のオフと合った日には参加しました。中でも印象に残っているのはレミゼラブルの舞台が格安で見れるツアーやウィンターガーデンというおしゃれな街のファーマーズマーケットに参加できるツアーなどがありました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>このディズニーインターンシッププログラムは実際に働く点で他の留学と大きく異なりますがその分机上だけでない実践的な英語が学べます。英語が話せて当たり前の環境に半年身を置くことは辛いことももちろんあります。逆に最初は辛い以外の何者でもなくて心が折れそうになるかもしれません。実際に私は何度も心が折れて家族や日本の友人に泣きながら電話したことが多々ありました。笑しかし諦めずに前向きに頑張っていれば自ずと英語に対する苦手意識も薄れていきだんだんと仕事を楽しんでいる自分に出会えるはずです！私も実際に参加して途中帰りたくなった時もありましたが、結果参加して本当に良かったと今は思っています。この半年は今まで生きてきたどの半年よりも濃く充実していて英語力だけでなくいろんな面で成長させてくれました。ぜひこの恵まれた機会を皆さんも最大限に活用してほしいです！</p>